

2019年10月吉日

熊本市薬剤師会 会長 殿

熊本大学病院 薬剤部長
齋藤 秀之

院外処方箋への検査値表示項目の追加について（ご報告）

平素より、当院院外処方箋の応需にご協力いただき感謝申し上げます。

2015年4月より、全診療科の理解と協力のもと「院外処方箋への検査値表示」の全面的運用を開始しております。検査値表示の運用開始以降、腎・肝機能に応じた治療薬の処方量の確認や処方提案、服薬に伴う副作用発現の把握など、検査値情報を基にした疑義照会を活用した事例を毎月数件報告いただき、検査値情報が医薬品適正使用と安全管理の観点から有用であることが確認されております。

先般、2019年4月より運用を開始した「施設間患者服薬状況等連絡書」を用いた保険薬局からの報告事項において、「ランマーク皮下注 120mg 投与後のカルシウム補給薬追加」の提案が行われました。「ランマーク皮下注 120mg による重篤な低カルシウム血症」につきましては、2012年9月発出の「安全性速報」にて、投与後の厳密な経過管理徹底が提言されています。しかし、現行の処方箋検査値表示項目は13項目（WBC、Hgb、PLT、PT-INR、AST、ALT、T-Bil、血清Cre、eGFR、CK、CRP、K、HbA1c）を対象としているため、当該検査値（Ca、補正用 Alb）のフォローが実施できず、調剤・鑑査時の安全管理の面からも、情報が不足している現状にありました。

これらの状況を鑑み、院外処方箋検査値表示項目の追加を実施いたしますので、ご理解を賜り医薬品適正使用の推進にご活用頂きます様お願い申し上げます。

【2012年9月発出 安全性速報内容】

「ランマーク皮下注 120mg による重篤な低カルシウム血症」

（提言内容）

- ・投与前及び投与後頻回に血清カルシウム値を測定してください
- ・カルシウム及びビタミンDの経口補充のもとに本剤を投与してください
- ・重度の腎機能障害患者では低カルシウム血症を起こすおそれが高いため、慎重に投与してください

【表示追加検査値項目】

「カルシウム値」、「アルブミン値」

【表示開始日】

2019年10月24日（木）